

市民の皆さまへ



西脇市教育長 笹倉 邦好

国際化、情報化が急激に進み、人々の生き方が多様化する中、人権課題はますます多岐にわたり、複雑化してきました。そうした課題の解決には、私たちがあらゆる機会に人権感覚を育み、自他の人権を大切にしようとする意欲や態度を養っていくことが大切になります。本市においては、市民の皆さまの手によってその着実な取組がなされているところです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症抜きには語れない1年になりました。新型コロナウイルスに起因する感染者等への誹謗中傷は喫緊かつ重要な課題となり、本市においても学校園、地域において、啓発資料・ポスター等を活用しながら教育・啓発を推進してまいりました。収束の兆しがなかなか見えてこない現状にあって、今後も粘り強い取組が求められます。一方、コロナ禍におきましても、相手を思いやるちょっとした声かけやさりげない行動により、助け合いの輪が広がり、人と人との繋がりが新たに芽生えてきたようにも感じています。

昨年度「ゆきちゃんからのメッセージ」に代わって、「Flat2020～心の視線の向こうに～」を創刊しました。この度、第2弾として「Flat2021」を発刊いたします。今回も創刊号と同様、人権に寄せる思いや活動をできる限り多く紹介しております。この紙面を通して、本市に脈打つ人権の確かな鼓動を市民の皆さまに感じ取っていただけるよう願っています。

2021（令和3）年3月



◆オリナス・・・市役所新庁舎・市民交流施設の愛称

J R 西脇市駅近くでのうれしい出来事

2020（令和2）6月、母親と高校生の娘が、道路脇で苦しそうにしている外国出身の女性のそばを通りかかりました。2人は、見て見ぬふりすることなく彼女に近づき、声をかけました。



西脇市在住外国人 32か国 663人（2021.3.1）